

年頭のごあいさつ

皆

さまには幸多き新春をご家族おそろいでお迎えのことと心からお喜び申し上げます。日頃から市政運営につきまして格段のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平

成29年を振り返りますと、にぎわいが数多く創出された年であったと思います。1月8日に大河ドラマ「おんな城主直虎」の放送が始まり、伯父にあたる新野左馬助公の遺徳が注目を集めました。新野左馬助公について研究を続けられた故鈴木東洋氏の旧邸を改装させていただいた「新野左馬之公展示館」を1月に開館し、11月末には来館者が1万人を達成しました。新野左馬助公顕彰会をはじめとする地域の皆さまが一体となって取り組んだ成果でもあったと感じます。

地

域活性化と交流人口拡大のために取り組んだ夏イベントも、帆船「海王丸」と浚漕船「清龍丸」の寄港、「御前崎みなと夏祭2017」、御前崎海水浴場などへ約11万人が訪れ、にぎわいを創出することができました。

ス

ポーツ分野での市民の活躍も多く、市を活気づけてくれた1年でもありました。8月にはイギリスロンドンで行われた世界陸上で、本市出身の飯塚翔太選手らを擁した日本チームが4×100メートルリレーで銅メダルを獲得、10月下旬から11月上旬にかけてハワイ州マウイ島のビーチで開かれたウインドサーフィンの世界大会、「アロハクラシック2017」の21歳以下で構成されるユースクラスで、大山区の石井孝良選手が見事優勝されました。この他にも新谷区の渡邊圭さんが第52回全日本サーフィン選手権シニアクラスで優勝、大山区の脇宏光さんが静岡県代表として臨んだ第1回都道府県対抗弓道大会で優勝するなど、全国さらには世界へスポーツのまち御前崎を発信した年でありました。

市

政14年目を迎える平成30年は、引き続き「第2次御前崎市総合計画」と「御前崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で定めた目標を、着実かつスピード感を持って推進してまいります。